

【ガイドライン※2 主催者への依頼】

これは大会開催にあたり、大会主催者が感染拡大防止のために、その都度作成していただく防止策の一例です。大会主催者は開催される時期に応じた、ステージレベルにあった内容のものを作成し、大会参加者へ通知します。

【新型コロナウイルス感染拡大防止策（例）】

ステージ1の場合

以下の項目を実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。

主催者である我々はもちろん参加チーム、保護者、審判員、そのほか全ての皆様に、この点を十分理解した上で参加いただくとともに、特段のご協力をお願いいたします。

*基本方針

福島県およびJBA・FBAのガイドラインに沿って実施します。

- FBA および地区協会へ実施について知らせ、実施要項を提出する。
- 下記項目やチェックリストによる自主的な参加見合わせを徹底する。
 - ・体調が良くない場合（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある）
 - ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域などへの渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- 参加選手の参加同意書はチーム責任者が作成し、提出させること。
- 全入場者の健康チェックシートの記入と提出（主催者は3ヶ月保管）
 - ・入場者とは、大会参加者、審判及び大会スタッフを指す。
- コート上を除くすべての方のマスク着用を義務化（各自持参）
 - ・屋外で、2m以上の距離を保てる環境下ではこの限りではない。
- 手指消毒液・ペーパータオルの設置及び使用を呼びかける掲示を行う。
 - ・出入り口、審判控え室、更衣室、手洗い場、トイレ等
- 屋内でのソーシャルディスタンス確保のためのベンチ・T〇の取り扱い
 - ・1～1.5mの距離を保った椅子の配置を行う。
- ステージおよびギャラリーでの観戦禁止（大会スタッフのみ使用可）
- 会場出入口は出口と入り口を分けて導線を作成する。
- 会場の備品、ドアノブ、トイレなどの消毒は1時間おきに実施する。
- 握手・ハイタッチ・抱擁等の接触を避けるよう周知する。
- 試合前のアップは屋外を原則とする。
- 審判は原則1試合とし、長時間の会場滞在を避ける。
- 前試合のハーフタイムでのアップは実施しない。
 - ・換気及び試合後の除菌について説明を行う。
- スコアラーのみ、ステージ上に残り、スコアシートを完成させる。
- 試合間は除菌作業と選手等の入退場のために20分間設ける。
- 試合後のベンチ、T〇、用具、出入り口の除菌作業の実施
 - ・ボール・T〇除菌→大会スタッフが実施
 - ・ベンチ・T〇除菌→チーム責任者監督のもと、使用者が実施
- アイスボックス等の共有物を設置しない。
 - ・審判員への飲料等の準備も含め実施しない。
 - ・審判員の昼食の用意については、協議の上準備する方向で進める。
- タオル・飲食等、すべてのものの共用をしないよう周知を徹底する。

- ・敷地内手洗い場を利用した粉末ドリンク作成も認めない。
- ごみの廃棄については、原則持ち帰り。大会役員のゴミについては大会スタッフがマスク・手袋着用で処理し、その後手指消毒を実施する。
- 各諸室の窓およびドアの開放、大型扇風機の利用等で換気を促す。

***努力事項**

JBA に示されているガイドラインの中で皆様のご協力のもと実現をしていきたいと考えている事項を下記に記します。

- 1 イベント100人の原則
 - ・ 1会場1面での試合実施とする。
 - ・ タイムスケジュールを作成し、選手、指導者並びに保護者等の協力を得て、常時、敷地内100人以内に努める。
- 屋内50人の原則（100人以内50%の原則）
 - ・ 1チームのエントリー数を10名までとする。
 - ・ 試合間を30分設けることで、退場5分、除菌作業に10分、入場5分の時間を確保し、屋内50人以内に努めます。会場での人の入れ替わりにご協力ください。
 - ・ 観客席の除菌は、入場された観客の方にご協力いただきます。
- 限りなく無観客に近い状態での試合の実施
 - ・ 送迎の都合を考え、各チーム上限5名（乳幼児でも複数不可）の観戦を認める。但し、観戦される方に関しては、チーム責任者より事前の申告があり、健康チェックシートの提出及び当日のIDの携行を義務付け。
 - ・ 接触確認アプリを活用するように広く周知するとともに入り口にアプリ登録推奨の掲示をする。

ワクチンや特效薬の作製がされていないため、発症後のリスクは現在も変わりません。

高齢者や持病をお持ちの方は、重症化リスクを鑑み、来場は避けるよう御協力下さい。

【ガイドライン※2 主催者への依頼】

これは大会開催にあたり、大会主催者が感染拡大防止のために、その都度作成していただく防止策の一例です。大会主催者は開催される時期に応じた、ステージレベルにあった内容のものを作成し、大会参加者へ通知します。

【新型コロナウイルス感染拡大防止策（例）】

ステージ2の場合

以下の項目を実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。

主催者である我々はもちろん参加チーム、保護者、審判員、そのほか全ての皆様に、この点を十分理解した上で参加いただくとともに、特段のご協力をお願いいたします。

*基本方針

福島県およびJBA・FBAのガイドラインに沿って実施します。

- FBA および地区協会へ実施について知らせ、実施要項を提出する。
- 下記項目やチェックリストによる自主的な参加見合わせを徹底する。
 - ・体調が良くない場合（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある）
 - ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域などへの渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- 参加選手の参加同意書はチーム責任者が作成し、提出させること。
- 健康チェックシートの記入とその管理（各管理者は3ヶ月保管）
 - ・入場者とは、大会参加者、審判、保護者各1名と大会スタッフを指す。
- コート上を除くすべての方のマスク着用を義務化（各自持参）
 - ・屋外で、2m以上の距離を保てる環境下ではこの限りではない。
- 屋内でのソーシャルディスタンス確保のためのベンチ・T.Oの取り扱い
 - ・1～1.5mの距離を保った椅子の配置を行う。
 - ・コート間の観客席は、ステージ側コートで試合を実施する各チームの保護者5名分まで（計10席）を設置する。
- ステージおよびギャラリーでの観客動員制限
 - ・ステージでの観戦禁止（大会スタッフのみ使用可）
 - ・ギャラリーは25人までの観戦を可とする（スタッフを含む）。
なお、ギャラリー使用の内訳はスタッフ及びステージ側コートで試合を実施するチームの保護者（エントリー数-5）と反対側コートで試合をするチームにエントリーしている選手の保護者各1名とする。
- 手指消毒液・ペーパータオルの設置及び使用を呼びかける掲示を行う。
 - ・出入り口、審判控え室、更衣室、手洗い場、トイレ等
- 会場出入口は入り口と出口を分けて導線を作成する。
- 会場の備品、ドアノブ、トイレなどの消毒は1時間おきに実施する。
- 握手・ハイタッチ・抱擁等の接触を避けるよう周知する。
- 試合前のアップは屋外を原則とする。
- 審判は原則1試合とし、長時間の会場滞在を避ける。
- 前試合のハーフタイムでのアップは実施しない。
 - ・換気及び試合後の除菌について説明を行う。
- スコアラーのみ、ステージ上に残り、スコアシートを完成をさせる。
- 試合間は除菌作業と選手等の入退場のために20分間設ける。

- 試合後のベンチ、T O、用具、出入り口の除菌作業の実施
 - ・ボール・T O除菌→大会スタッフが実施
 - ・ベンチ・T O除菌→チーム責任者監督のもと、使用者が実施
- アイスボックス等の共有物を設置しない。
 - ・審判員への飲料等の準備も実施しない。
 - ・審判員の昼食の用意については、協議の上準備する方向で進める。
- タオル・飲食等、すべてのものの共用をしないよう周知を徹底する。
 - ・粉末ドリンク作成前にも手洗いと手指消毒を実施するよう周知する。
- ごみの廃棄については、原則持ち帰り。大会役員のゴミについては大会スタッフがマスク・手袋着用で処理し、その後手指消毒を実施する。
- 各諸室の窓およびドアの開放、大型扇風機の利用等で換気を促す。

***努力事項** JBA に示されているガイドラインの中で皆様のご協力のもと実現をしていきたいと考えている事項を下記に記します。

- 1 イベント200人の原則（全校生徒平均600人の3分の1）
 - ・1施設2面での試合実施を可能とする。
 - ・タイムスケジュールを作成し、選手、指導者並びに保護者等の協力を得て、常時、敷地内200人以内に努める。
- 屋内100人の原則（200人以内50%の原則）
 - ・1チームのエントリー数を原則10名までとする。
 - ・ギャラリーでのソーシャルディスタンスの確保に保護者の皆様のご協力をいただく。
 - ・試合間を30分設けることで、退場10分、除菌作業に10分、入場10分の時間を確保し、屋内100人以内に努めます。会場での人の入れ替わりにご協力ください。
 - ・観客席およびギャラリーの除菌は、観客の方にご協力いただきます。
※主催者側でも常設しますが、除菌シートやアルコールスプレーの持参の協力を依頼する。
- 観客動員に制限をかけての試合の実施（観客の距離2m確保）
 - ・送迎の都合を考え、各チームのエントリー数（乳幼児でも不可）の観戦を認める。但し、観戦される方に関しては、チーム責任者の責任の下、健康チェックシートによる健康管理及び当日の健康に関する不安がないことを条件とします。
 - ・接触確認アプリを活用するように広く周知するとともに入り口にアプリ登録推奨の掲示をする。
 - ・選手あたり保護者1名の観戦に感染拡大防止策であることを十分理解し、協力していただきたい。

ワクチンや特効薬の作製がされていないため、発症後のリスクは現在も変わりません。
高齢者や持病をお持ちの方は、重症化リスクを鑑み、来場は避けるよう御協力下さい。

【ガイドライン※2 主催者への依頼】

これは大会開催にあたり、大会主催者が感染拡大防止のために、その都度作成していただく防止策の一例です。大会主催者は開催される時期に応じた、ステージレベルにあった内容のものを作成し、大会参加者へ通知します。

【新型コロナウイルス感染拡大防止策（例）】

ステージ3の場合

以下の項目を実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。

主催者である我々はもちろん参加チーム、保護者、審判員、そのほか全ての皆様に、この点を十分理解した上で参加いただくとともに、特段のご協力をお願いいたします。

*基本方針

福島県およびJBA・FBAのガイドラインに沿って実施します。

- FBA および地区協会へ実施について知らせ、実施要項を提出する。
- 下記項目やチェックリストによる自主的な参加見合わせを徹底する。
 - ・体調が良くない場合（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある）
 - ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域などへの渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- 参加選手の参加同意書はチーム責任者が作成し、提出させること。
- 健康チェックシートの記入とその管理（各管理者は3ヶ月保管）
 - ・入場者とは、大会参加者、審判、家族、スタッフ、協会役員を指す。
 - ・協会役員においても、大会主催者への提出をお願いする。
- コート上を除くすべての方のマスク着用を義務化（各自持参）
 - ・屋外で、2m以上の距離を保てる環境下ではこの限りではない。
- 屋内でのソーシャルディスタンス確保のためのベンチ・T.Oの取り扱い
 - ・1～1.5mの距離を保った椅子の配置を行う。
 - ・コート間の観客席は、ステージ側コートで試合を実施するチームにそれぞれ10席を設置する。
- ステージおよびギャラリーでの観客動員制限
 - ・ステージは10人程度の観戦を可とする。（他チーム指導者、スタッフ、協会役員が利用）
 - ・ギャラリーは50人までの観戦を可とする（ステージ正面を20人、他辺を各15人）。
なお、ギャラリー使用が認められるのは、試合の当該チームの保護者並びに家族・親戚とする。
- 手指消毒液・ペーパータオルの設置及び使用を呼びかける掲示を行う。
 - ・出入り口、審判控え室、更衣室、手洗い場、トイレ等
- 会場出入口は入り口と出口を分けて導線を作成する。
- 会場の備品、ドアノブ、トイレなどの消毒は1時間おきに実施する。
- 握手・ハイタッチ・抱擁等の接触を避けるよう周知する。
- 試合前のアップは屋外を原則とする。
- 審判は原則1試合とし、長時間の会場滞在を避ける。
- コート上でのチームメイト、審判員との会話の際の距離についても留意するよう周知する。

- 前試合のハーフタイムでのアップは実施しない。
 - ・換気及び試合後の除菌について説明を行う。
- スコアラーのみ、ステージ上に残り、スコアシートを完成させる。
- 試合間は除菌作業と選手等の入退場のために20分間設ける。
- 試合後のベンチ、TO、用具、出入り口の除菌作業の実施
 - ・ボール・TO除菌→大会スタッフが実施
 - ・ベンチ・TO除菌→チーム責任者監督のもと、使用者が実施
- アイスボックス等の共有物を設置しない。
 - ・審判員・ステージでの観戦者への飲料等の準備も実施しない。
 - ・審判員の昼食の用意については、協議の上準備する方向で進める。
- タオル・飲食等、すべてのものの共用をしないよう周知を徹底する。
 - ・粉末ドリンク作成前にも手洗いと手指消毒を実施するよう周知する。
- ごみの廃棄については、原則持ち帰り。大会役員のゴミについては大会スタッフがマスク・手袋着用で処理し、その後手指消毒を実施する。
- 各諸室の窓およびドアの開放、大型扇風機の利用等で換気を促す。

***努力事項** JBA に示されているガイドラインの中で皆様のご協力のもと実現をしていきたいと考えている事項を下記に記します。

- 1イベント300人の原則（全校生徒平均600人の2分の1）
 - ・1施設2面での試合実施を可能とする。
 - ・タイムスケジュールを作成し、選手、指導者並びに保護者等の協力を得て、常時、敷地内300人以内に努める。
- 屋内150人の原則（300人以内50%の原則）
 - ・1チームのエントリー数を原則12名までとする。
 - ・ギャラリーでのソーシャルディスタンスの確保に保護者の皆様のご協力をいただく。
 - ・試合間を30分設けることで、退場10分、除菌作業に10分、入場10分の時間を確保し、屋内150人以内に努めます。会場での人の入れ替わりにご協力いただく。
 - ・観客席およびギャラリーの除菌は、観客の方にご協力いただきます。
※主催者側でも常設しますが、除菌シートやアルコールスプレーの持参の協力を依頼する。
- 観客動員に制限をかけての試合の実施（観客間1～1.5m確保）
 - ・各チームの選手の保護者並びに家族や親族の観戦を認める。但し、観戦される方に関しては、日頃から健康管理を実施するとともに当日の健康に関する不安がないことを条件とします。
 - ・接触確認アプリを活用するように広く周知するとともに入り口にアプリ登録推奨の掲示をする。

ワクチンや特効薬の作製がされていないため、発症後のリスクは現在も変わりません。

高齢者や持病をお持ちの方は、重症化リスクを考え、
来場はできる限り、避けるよう御協力下さい。